

福祉保健生活環境委員会 県内所管事務調査の概要

【平成29年5月8日（月）】

◆調査箇所：社会福祉法人一燈園 ケアハウスサンクレールいっとうえん（別府市石垣東）

＜概要＞

社会福祉法人一燈園は、別府市内で昭和51年の設立以来、特別養護老人ホームや軽費老人ホーム、通所介護、グループホーム、居宅介護支援、訪問介護など、高齢者の生活を支える多く施設を設置・運営しており、入所者やその家族に寄り添った施設運営で、高齢者の福祉増進に寄与している。

今回の調査では、今年4月から入居を開始した「ケアハウス サンクレールいっとうえん」を訪問し、耐震移転改築や高齢者向け複合施設の概要について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・施設で働く職員の資質向上と管理について
- ・入居高齢者の医療面や認知症対策等について
- ・職員の処遇改善について

◆調査箇所：東部振興局、東部保健所、東部保健所国東保健部

＜概要＞

東部振興局、東部保健所及び東部保健所国東保健部から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、健康寿命日本一に向けた取組、危機管理機能の充実、おおいとうつくし作戦の推進等）の概要及び2月に実施した東部地区防災図上訓練や4月に実施した大分県総合防災訓練の状況や課題等について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・子どもの居場所づくりや子ども食堂の営業許可について
- ・災害時情報連絡員について
- ・県立精神科に求める機能等について

◆調査箇所：社会福祉法人安岐の郷 特別養護老人ホーム鈴鳴荘（国東市安岐町下山口）

＜概要＞

社会福祉法人安岐の郷は、特別養護老人ホーム等を経営する一方、小規模多機能施設を開設し、地域から要望のあった居酒屋を毎月開催するなど地域の困りごとの解決にも取り組んでいる。

また、鈴鳴荘においては、デイサービス利用者と園内託児所の児童との交流が行われ、昨年9月からは、県のモデル事業「子どもの居場所づくり推進事業」を活用し、ひとり親家庭における子どもの居場所づくりや学習支援にも取り組んでいる。



＜主な質疑等＞

- ・子どもの居場所づくり推進事業の概要について
- ・児童に対する食事の提供や学習支援の状況について

【平成29年5月16日（火）】

◆調査箇所：地域総合支援センター サポートネットすまいる（宇佐市大字四日市）

大分県社会福祉事業団は県下で多くの障がい者支援施設を運営しているが、宇佐市においては地域総合支援センターサポートネットすまいるが、障がい者や高齢者とその家族が身近な地域で安心して生活するためのサポートを行っている。

今回の調査では、利用者の利便性向上を図るため宇佐市四日市に移転改築された新施設を訪問し、糸口学園で行っていた、放課後等デイサービスや配食サービス、カフェレストランなどの就労継続支援A型事業の拡充の取組を調査した。



<主な質疑等>

- ・発達障害における未就学児の訪問相談や市民への周知について
- ・就労継続支援A型事業の現況について
- ・ヘルパーや世話人の資格と待遇について

◆調査箇所：北部振興局、中津児童相談所、北部保健所、北部保健所豊後高田保健部

<概要>

北部振興局、中津児童相談所、北部保健所及び北部保健所豊後高田保健部から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、児童虐待における対応と家族支援、健康寿命日本一に向けた取組、危機管理機能の充実、おおいたうつくし作戦の推進等）の概要及び4月に実施した大分県総合防災訓練の状況や課題等について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・河川の水質浄化の取組と漁業への影響について
- ・児童相談所における相談内容と対応について
- ・県立精神科に求める機能等について

◆調査箇所：中津子ども食堂 夢（中津市一ツ松）

<概要>

昨年7月にオープンした「中津子ども食堂 夢」は、中津市一ツ松にある高齢者サロン「こまどりの家」を借りて、毎週水曜日に夕方5時～9時まで開いている。その活動は、学習支援、夕食の提供、レクリエーションであり、子ども食堂代表の原夫妻、社会福祉協議会の職員や高校生のボランティア等より運営されている。

今回の調査では、食堂を運営する原夫妻、中津市議会吉村副議長から、食堂の概要と食堂運営に対する課題等について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・こども食堂の周知方法と保護者の反応について
- ・食堂の許可と調理における配慮等について
- ・子ども食堂の運営の課題と地域や自治体、学校との連携について

【平成29年5月17日（水）】

◆調査箇所：学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校看護学科（日田市日ノ出町）

＜概要＞

昭和学園高等学校看護科は、平成27年度に私立高校としては全国初となるスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の指定を受け、高度な知識・技能を身に付けた、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図っている。

今回の調査では、SPH事業の概要と地域の健康づくりに寄与するため、生徒が作成した健康プログラムの発表を見学し、28年度に完成した新校舎を視察した。



＜主な質疑等＞

- ・豊かな人間性を育む教育の内容について
- ・5年一貫教育と生徒の就職先について
- ・スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定の効果について

◆調査箇所：西部振興局、西部保健所

＜概要＞

西部振興局、西部保健所から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、健康寿命日本一に向けた取組、児童虐待の対策、危機管理機能の充実、おおいたうつくし作戦の推進等）の概要及び4月に実施した大分県総合防災訓練の状況や課題等について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・地域包括ケアの県民周知と課題について
- ・県立精神科に求める機能等について
- ・生活保護について

◆調査箇所：九重町相挟間地区 小規模給水施設（九重町大字菅原相挟間）

＜概要＞

九重町相挟間地区の給水施設は送配水管の老朽化が進行していたほか、水源からマンガンが検出されるなど飲用に不適とされたため、「小規模給水施設普及支援事業」を活用し、井戸の堀替えと送配水管の敷設替えを行っている。

今回の調査では、比較的少ない費用で設置できる水浄化施設の設置状況を視察した。



＜主な質疑等＞

- ・小規模給水施設の設置費用について
- ・九重町での事業ニーズについて

【平成29年5月22日（月）】

◆調査箇所：消防学校

＜概要＞

消防学校から、組織・職員の配置状況、施設の概況及び本委員会が所管する主要な事務（消防職員・消防団員に対する基礎的な教育訓練や専門的な教育訓練、消防職員・消防団員幹部に対する教育訓練などの実績・計画、平成29年度予算額等）の概要について説明を受けるとともに、新たに採用された消防職員の初任教育訓練を調査した。



＜主な質疑等＞

- ・大規模、過酷災害時における消防職員のストレス対策について
- ・消防団員の確保対策について
- ・消防技術向上に係る訓練及び施設について

◆調査箇所：公立大学法人大分県立看護科学大学

＜概要＞

看護科学大学から、大学の概要、組織及び職員の配置状況、財政状況、入学定員及び平成29年度入学生の様態、平成28年度卒業生の進路状況及び国家試験受験結果、今年度の重点事業等について説明を受けた。

看護科学大学は、平成27年10月に厚生労働省の「特定行為研修指定研修機関」に新たに指定されている。



＜主な質疑等＞

- ・NP（診療看護師）教育の普及について
- ・授業料の減免について
- ・就職支援制度について

◆調査箇所：大分県動物管理所、動物愛護センター建設予定地（大分市下宗像、廻栖野）

＜概要＞

大分市廻栖野の九州乳業敷地内を訪問し、平成30年度に建設、竣工を予定している動物愛護拠点施設について、土地・建物のイメージ、価格、建設スケジュール等について説明を受けた。

その後、大分市小野鶴にある動物管理署に移動し、犬猫の保護・抑留施設の状況と犬猫の殺処分、譲渡用子犬、猫舎及び譲渡の状況等について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・土地、建物の取得価格、建設スケジュールについて
- ・犬猫の殺処分について

◆調査箇所：こども・女性相談支援センター、こころとからだの相談支援センター

<概要>

こども・女性相談支援センター及びこころとからだの相談支援センターから、組織・職員の配置状況、管内の概況及び本委員会が所管する主要な事務（児童虐待・非行等の相談・支援、里親委託の推進、DVに係る相談対応、障がい者に関する相談、こころの緊急支援活動等）の概要について、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・市町村要保護児童対策地域協議会の連携機能強化の状況について
- ・センターの名称について
- ・発達障がい児者の就労支援について

【平成29年5月23日（火）】

◆調査箇所：中部振興局、中部保健所、中部保健所由布保健部、消費生活・男女共同参画プラザ

<概要>

中部振興局、中部保健所、中部保健所由布保健部及び消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、健康寿命日本一に向けた取組、児童虐待の対策、危機管理機能の充実、おおいたうつくし作戦の推進、消費者教育・啓発活動、女性の活躍推進事業、県民活動支援等）の概要及び4月に実施した大分県総合防災訓練の状況や課題等について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・消費啓発講座の開催回数及び大分市との連携について
- ・県立精神科に求める機能等について
- ・DV被害者の対応について

◆調査箇所：県立病院

<概要>

県立病院から、組織・職員の配置状況、医療提供体制及び経営状況、第3期中期事業計画及び県立病院精神医療センター基本設計等について説明を受けるとともに、患者への情報提供のため、昨年度設置したデジタルサイネージや、平成28年年度から大規模改修を行っている西病棟9階及び今後買収を予定している精神科建設候補地の調査を行った。



<主な質疑等>

- ・現状の情報共有の体制と今後について
- ・看護師の夜間勤務について
- ・ドクターヘリの出動状況について

◆調査箇所：衛生環境研究センター

<概要>

衛生環境研究センターから、組織や施設の概況及び本委員会が所管する主要な事務（食品衛生・自然毒等に関する試験検査、感染症・食中毒等に関する微生物学的検査、大気汚染・ダイオキシン類・悪臭や環境放射能に関する測定・分析等、環境水・工場排水等に関する試験検査等）について説明を受け、調査を行った。



<主な質疑等>

- ・ 芹川ダムの現在の水質と大分市の水道水の状況について
- ・ 自然毒（フグ毒）に関する試験検査と養殖フグについて

◆調査箇所：大分県社会福祉介護研修センター（大分市明野東）

<概要>

大分県社会福祉介護研修センターは大分県社会福祉協議会が指定管理を行っており、県民を対象とした介護技術研修や、福祉・介護サービス従事者への専門研修及び福祉人材センター・バンクの運営など、高齢社会を支える福祉の人づくりを推進している。

今回の調査では、センターの職員、業務概要、施設について説明を受けるとともに、昨年度から導入している介護ロボット等導入促進事業の状況について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・ 研修の応募及び受講状況について
- ・ 介護ロボットスーツを利用した事業所の感想とフィードバックについて
- ・ 実務者研修におけるヘルパー技術の向上について

【平成29年5月30日（火）】

◆調査箇所：太平洋セメント株式会社大分工場（津久見市合ノ元町）

<概要>

株式会社太平洋セメント大分工場は、同社の主力工場の一つとして最新鋭の設備が導入され、生産量の約半分が、台湾などのアジア各国等に輸出されている。

今回の調査では、大分工場の概況と資源循環型社会形成推進に向けた同社の取組について説明を受けるとともに、市町村のごみ処理施設から発生する焼却残渣、下水汚泥、廃タイヤ等の処理現場の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・ 廃棄物を受け入れる際の費用について
- ・ 木質バイオマスの入手先について
- ・ 災害廃棄物の受入れについて

◆調査箇所：南部振興局、南部保健所

<概要>

南部振興局、南部保健所から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、健康寿命日本一に向けた取組、児童虐待の対策、危機管理機能の充実、おおいたうつくし作戦の推進等）の概要及び4月に実施した大分県総合防災訓練の状況や課題等について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・ 県立精神科に求める機能等について
- ・ 地域包括ケアにおけるコミュニティケア及び地域ホスピスについて
- ・ 生活習慣実態調査について

◆調査箇所：学校法人文理学園 日本文理大学附属高等学校（佐伯市長島町）

<概要>

日本文理大学附属高等学校は、県南地区唯一の私立高校として、普通科、商業科（マルチメディア、福祉）、情報技術科、機械科において、特色ある教育を実践するとともにしている。

今回の調査では、昨年度実施した普通教室棟や体育館などの耐震補強工事の状況を視察するとともに、ハイスクール消防クラブの取組について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・ ハイスクール消防クラブの通常活動について
- ・ 学校における防災教育について

◆調査箇所：海の子児童クラブ（佐伯市大字戸穴）

<概要>

海の子児童クラブの新施設は、県の放課後児童クラブ整備事業を活用し、平成29年2月に完成した。現在、利用児童48名、子どもたちが遊べる広いスペースと屋外遊具、インドアクライミング設備を確保している。

以前の施設は、小学校から遠い笹良目地区にある民間企業の建物を利用していたが、施設から小学校までの歩道が整備されていない、海に近く津波被害のおそれがあることから、現在の位置に移転し、児童の安全性に配慮をしている。



<主な質疑等>

- ・ 多動や障害のある子への対応について
- ・ 指定管理の利点について
- ・ 児童クラブの防犯対策について

【平成29年5月31日（水）】

◆調査箇所：防災航空隊

＜概要＞

防災航空隊から、組織・職員の配置状況、施設の概要、防災ヘリ「とよかぜ」の機体更新、運航体制及び熊本地震の際の対応状況を踏まえた県央飛行場機能強化事業の概要等について説明を受けるとともに、防災ヘリコプターの機体及び装備品等について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・熊本地震におけるヘリの活動状況について
- ・大規模災害時の人員確保について
- ・新機体の導入について

◆調査箇所：豊肥振興局、豊肥保健所

＜概要＞

豊肥振興局、豊肥保健所から、組織及び管内の概要や本委員会が所管する主要な事務（防災対策、交通安全、健康寿命日本一に向けた取組、児童虐待の対策、危機管理機能の充実、おおいたうつくし作戦の推進等）の概要について説明を受けた。

また、5月16日に豊後大野市朝地町綿田地区で発生した地すべりについて、現在の状況（避難者、地割れの範囲、農地被害）について報告を受け、今後の地すべり対策等について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・綿田地区における地すべり対策工事について
- ・営農継続における支援体制について
- ・県立精神科に求める機能等について

◆調査箇所：食肉衛生検査所、大分県畜産公社食肉処理施設（豊後大野市犬飼町田原）

＜概要＞

大分県畜産公社の新しい食肉処理施設は、高度な衛生水準、国際化への対応、食育の推進の3つを目的として、平成28年度に完成した。

今回の調査では、食肉衛生検査所から組織・職員の配置状況及び平成28年度の業務実績の説明を受けた後、大分県畜産公社の新食肉処理施設の概要（牛豚の処理ラインを完全分離、枝肉から部分肉まで一体的処理、HACCP方式等）を食育推進を目的に整備された一般向け見学順路をたどり視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・牛海綿状脳症（BSE）検査について
- ・食肉の輸出状況について
- ・一般向け見学順路の活用による食育推進について

◆調査箇所：二豊学園

<概要>

二豊学園から、組織・職員の配置状況、学園の設備や運営の概要（児童の生活態度・入退所の経路及びその理由、支援の概要、退所児童の状況、自立支援等）について説明を受けるとともに、寮舎の施設・設備等の調査を行った。



<主な質疑等>

- ・発達障がいを持つ児童等への対応について
- ・学園退所後のフォローアップについて
- ・暴力のない環境づくりについて